

各位

上場会社名 株式会社ジョイフル
 代表者 代表取締役社長 穴見 くるみ
 (コード番号 9942)
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 小野 哲矢
 (TEL 097-551-7131)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月10日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	31,550	540	540	100	3.40
今回修正予想(B)	31,260	1,370	1,440	770	27.54
増減額(B-A)	△290	830	900	670	
増減率(%)	△0.9	153.7	166.7	670.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	30,448	824	841	365	12.42

平成28年12月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成28年1月1日～平成28年6月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,697	△190	△318	△10.81
今回修正予想(B)	16,697	590	300	10.52
増減額(B-A)	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年12月期第2四半期)	30,441	843	365	12.42

※第2四半期個別業績につきましては、平成28年1月1日付で持株会社体制へ移行し、直営店舗の運営事業に関して有する権利義務を吸収分割承継会社11社に承継させる吸収分割を行っているため、前期実績に比べ大幅に差異が出ております。

修正の理由

(1) 第2四半期累計期間業績予想
(連結)

売上高につきましては、創立40周年を記念したメニューや、モーニング限定メニューの全時間帯営業などが功を奏し堅調に推移した結果、既存店売上高前年比は100.7%となりましたが、熊本震災の影響、及び新店の出店の遅れがあり、前回発表予想より2億9千万円少ない312億6千万円となる見通しであります。

営業利益及び経常利益につきましては、原材料価格及び電気・ガス料金が当初見込みを大幅に下回ったため、営業利益は前回発表予想より8億3千万円多い13億7千万円、経常利益は前回発表より9億円多い14億4千万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前回発表予想より6億7千万円多い7億7千万円となる見通しであります。

(個別)

売上高につきましては、子会社の営業利益が好調に推移し、子会社の営業利益に対して一定料率を乗じて徴収するロイヤリティー収入が増加した一方で、原材料価格が当初見込みを大幅に下回ったため子会社に対する食材売上高が減少した結果、売上高は当初予想通りの166億9千7百万円となる見通しであります。

経常利益につきましては、原材料価格が大幅に下回ったことにより売上原価が減少したため、経常利益は5億9千万円、四半期純利益は3億円となる見通しであります。

(2) 平成28年12月期通期業績予想

通期の業績予想につきましては、堅調に推移すると見込んでおりますが、最大繁忙期である夏場の天候など、業績を左右する重要な要素の先行き不透明感が依然として残ることから、平成28年2月10日に発表いたしました連結業績予想(売上高652億円、営業利益22億円、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益9億円、1株当たり当期純利益30円60銭)、個別業績予想(売上高346億2千2百万円、経常利益4億5千9百万円、当期純損失1億8千3百万円、1株当たり当期純損失6円22銭)は、変更いたしません。

(注)上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
以上

以 上